

市民活動・ボランティア ニュース

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS



2004年 11月号
平成16年10月25日発行
通巻71号

台風21号災害支援と三重県ボランティア情報センター 三重県生活部NPO室 森下道大

今回の台風21号により県内各所では大きな被害が出ました。海山町では3m程水没した地域があったり、首まで水に漬かって3時間ほど我慢された方がいると聞いています。宮川村では現在まで行方わからない方がおみえになります。その他の地域でも多くの方が被災されました。被害を受けられた方々は、その大小にかかわらず大変な思いをされたと思います。普段の生活に早く戻れるよう心より願っています。

さて、三重県ボランティア情報センターは、行政と市民が協働して運営し、三重県内で被災された住民等が必要とする支援（ニーズ）やボランティア活動に関する情報等の共有化（情報収集・発信）を行い、各地域ボランティアセンターを支援する三重県窓口として活動を行いました。設置場所は、津駅東口のアスト津ビル3階、みえ市民活動ボランティアセンター内です。これまで東海豪雨、福井水害の支援を行ってきました。今回は、それまでのノウハウを結集して現地の災害復旧の支援をしてきました。具体的な支援方法としては、現地向けた「ボランティアパック」と名付けたボランティアバスの運行、現地情報の収集と県内外への発信、物資の調達等です。ボランティアバスには、参加された方に一人1,000円の自己負担をしていただきましたが、400人以上の方が利用し、ホームページのアクセスは2万5千件以上にもなりました。ボランティアバスの自己負担には、ご批判もいただきましたが、行政や誰かが負担をしなければボランティアができない社会ではなく、自己負担してでもいち早く災害に立ち向かうことができる社会が望ましい形ではありませんか。多くの方のご理解をいただき、今回の災害に関心を持って自ら行動された方の支援の一端を担えたかと思えます。

災害は人の都合を待ってはくれません。普段からの災害への備えや、ボランティアコーディネーターが力を発揮できるような仕組みを築いていかなければなりません。災害という緊急性の高い地域課題に市民と行政が「協働」で取り組むボランティアセンターは、新しい時代の仕組みを感じさせます。

今後ともこういった取り組みを行い、ボランティア活動を支援していきます。皆さんの参加をお待ちしています。今回の活動は以下のホームページに詳細を掲載していますのでこちらをご覧ください。

<http://www.v-bosaimie.jp/mvic/>

◆発行◆
514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動にニュースはこちらにあります！

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター（津市大門7-15 津センターバレス3階）/オールウエイズ（津センターバレス1階）/津中央郵便局ボランティアコーナー（津市中央）/（有）デザインオフィス萩野（津市大谷町301-1）/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう（鈴鹿市白子駅前18-15）/南勢町市民活動室連絡協議会（南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内）/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会（伊勢市一色町2）/鳥羽NPOネットワークセンター・結（鳥羽市鳥羽1-3-8）/特定非営利活動法人みえきた市民活動センター（桑名市中央町1-8東和ビル内）/四日市市民活動センター（四日市市蔵町4-17）/寺子屋プロジェクト（四日市市天ヶ須賀4丁目9-19）/ウィリアム テルス・アップル まちづくりセンター（上野市小玉町3045-1）/みえ市民活動ボランティアセンター（津市羽所町700アスト津3階）/上野市中央公民館/上野市立図書館/上野市民サポートセンター（（特）平成・伊賀@LAN事務所）/上野青年会議所/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート赤目の森（名張市上三谷268-1）/明和町市民活動サポートセンター（明和町馬之上944-5）/松阪大学（松阪市久保町1846）/松阪市市民活動センター（松阪市日野町788）/名張市市民活動センター（名張市夏見2812）
【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会
【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店
【行政機関等】三重県庁県民ホール（津市広町113）/三重県地域機関（各県民局）（桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南）/三重県サービスセンター（情報公開窓口）/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/富宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

アスト de プロデューサー 12 畑中英樹

災害ボランティアに参加して

10月13日、私はボランティアバスに乗って海山町入りしました。現地の災害ボランティアセンターで情報を収集して、スコップ等の道具一式を借りて被災地区へ向かいました。途中で見た公共施設や道路等の公の部分はほぼ後片付けが済んでいましたが、住宅地に一步入ってみると、住民の方々が慌ただしく復旧作業に追われていました。私は堆積した泥のかき出し作業等をお手伝いしましたが、なかには助けを求めず悩んでおられる高齢者の方もおられました。

家に堆積した泥、異臭、失われた普通の生活…教えれば切りがありませんが、被災者の復旧への戦いはまだ始まったばかりです。今回の災害は三重県に甚大な被害とともに数多くの教訓も残してしまいました。それらに一人一人が向き合い、これからは幅広い備えがさらに必要です。災害は地域の脆弱な部分を見逃したりはしません。だからこそ「強くなる」以外に選択肢はないと思いました。

ボランティアコーディネーターってなんだ?? 17 野村希代

このコーナーでは何度か防災や災害救援について取り上げましたが、先日三重県でも台風21号による大きな被害が出て、被災地の復興のため、ボランティアが活動しました。今回、海山町災害ボランティアセンターで受付し、活動したボランティアはのべ5000人。県内外を問わず、多くの方が参加されました。

アストに設置した三重県ボランティア情報センターでは、「ボランティアパック」として、主に海山町へ向けて連日バスを出しました。その参加者アンケートを見ていると、日を追うごとに、ボランティアを支えるボランティアコーディネーターの存在に気づく人たちが、ボランティアの受け入れ、派遣がスムーズだったという意見が増えてきました。私も海山町災害ボランティアセンターが立ち上がって2日目に現地へ行きましたが、非常に混乱していましたし、その中で自分ができることを探すのに必死でしたが、アンケートを見ながら、たくさんのボランティアコーディネーターがボランティアセンターの運営について考え、日々進化しているのを感じていました。

海山町だけでなく、宮川村なども大きな被害を受けました。被災された方々の生活を取り戻すにはまだまだ時間が必要です。災害は起こらないほうがいいのは当然ですが、起こったときにどうするか、今回の経験をしっかりと振り返って、今後活かしていきたいと思えます。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

台風21号災害支援のためのボランティア活動



海山町のボランティアセンターには、多くのボランティアが集まりました。

福井県からも支援が到着しました。



みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ
特定非営利活動法人(NPO法人)申請は4団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備え置いております。

●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
(1)さくらそう(2)村田ルリ子(3)阿山郡伊賀町希望ヶ丘東4丁目8番2号
(1)NPO森のピーターパン(2)山中保一(3)亀山市川崎町1937番地の1
(1)竹姫会(2)伊藤喜喜夫(3)鈴鹿市西条5丁目1055番1号
(1)NPO・パートナーシップ創(2)上田増夫(3)松阪市日野町606番地
(平成16年9月10日～平成16年10月10日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人だんらん(16年3月11日)／特定非営利活動法人みえIT市民会議(16年5月17日)／特定非営利活動法人三重県防災避難誘導推進協会(16年6月3日)／特定非営利活動法人タランガ フレンドシップ グループ(16年8月16日)／特定非営利活動法人まなびの広場(16年8月11日)／特定非営利活動法人ウィミィ(16年9月6日)／特定非営利活動法人うのの郷クラブ(16年8月23日)／特定非営利活動法人シルバーくす(16年9月6日)／特定非営利活動法人松阪地区同和教育推進協議会(16年9月10日)／特定非営利活動法人岳への道(16年9月14日)／特定非営利活動法人伊勢生きがい対策事業団(16年9月24日)／特定非営利活動法人あさひ(16年10月4日)／特定非営利活動法人日本ケアフィットサービス協会三重(16年9月28日)／特定非営利活動法人SUZUKA文化塾そつ琢磨(16年10月5日)／特定非営利活動法人未来の種(16年10月5日)

(平成16年9月10日～平成16年10月10日届出分)

イベントスケジュール

ぽっかぽかの会より文化の日のビッグなプレゼント

- とき／11月3日(水) PM1:00～PM4:20
●ところ／亀山市総合保健福祉センター「あいあい」研修室(亀山市羽若町545番地) ●参加費／無料
●内容／第1部(PM1:00～PM2:40)はダウン症と自閉症の二人の青年の米国留学ドキュメンタリー映画『able』の上映。第2部(PM2:50～PM4:20)は、山根一枝さんのお話、「チャレンジいっぱいの子育て」を行います。久居市在住の山根さんは国際交流団体連絡会代表であり、次男政人君の関係で自閉症協会評議員、自閉症協会三重県支部副会長としての活動のほか、政人君とともに夢のリアフリーミュージカル「あんぼんたん」、スペシャルオリンピックス活動に参加中です。当日は託児もあります。(要予約)
●申込・問い合わせ先／浜野 Tel.&Fax.0595-83-4956
E-mail y_hamano@zvtv.ne.jp

～絵本の扉を開く～ 正置友子先生講演会

「絵本の楽しさ こどもから おとなまで」その2

- とき／11月3日(祝・水) PM12:30受付 PM1:00～PM3:30
●ところ／皇學館大学(名張学舎) 大教室
●参加費／無料。資料代(実費100円程度の予定)
託児(会員無料、会員外500円)
●内容／絵本学博士であり、名張子どもの本の連絡会相談役である正置さんのお話です。定員に満たない場合は当日受付を行います。
●募集人数／講演会 100人、託児10人(要申込)
●主催・申込先／名張子どもの本の連絡会(代表:高見)
Tel.0595-68-0226 Fax.0595-65-7588
E-mail ehon@nava21.ne.jp

【四日市まんなか子ども劇場】

子どもたちが様々な体験を積み重ねて、心身ともに豊かに育つように活動を展開しています。この度、子育て支援活動として幼児を持つお母さんが、子どもを抱かえてひとりで孤独な子育てをしないで済むように、ベテランお母さんとホッとできる場を作りました。子育てサロンとワンデーレッスンは託児を500円(2人目からは半額)で行います。

子育てサロン「カフェまんなか」

- とき／11月30日(火)、12月21日(火) AM10:30～PM12:30
●ところ／四日市まんなか子ども劇場事務所 ●参加費／500円

ワンデーレッスン

- とき／11月8日(月)、12月6日(月) AM10:30～PM12:30
●ところ／四日市まんなか子ども劇場事務所
●参加費／1500円(会員1000円)
●内容／11月は「絵手紙を書こう」、12月は「ウォールクリスマス」を行います。

おもちゃ診療所

- とき／11月27日(土) PM2:00～PM4:00(奇数月第4土曜)
●ところ／みんなの居場所きらり
●参加費／居場所利用料(300円)と部品代
●問い合わせ先／四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.0593-51-6670 E-mail mnnaka@m4.cty-net.ne.jp(開局日:月～土(水曜を除く)AM10:00～PM5:00)

伊勢志摩の食と農、安全・安心フォーラム

- とき／11月6日(土) PM1:30～PM4:30
●ところ／ハートプラザみその(度会郡御園村長屋2767
Tel.0596-22-6604) ●参加費／無料
●内容／食の安全・安心が求められている今。私たち一人ひとりどのように食へのこだわりを持てばよいか、広い視野に立って、生産者・消費者がともに考えようフォーラムを開催します。当日は元NHK解説委員、NHK「明るい農村」ディレクターの加倉井弘さんによる講演「世界の中で日本の食糧を考えよう!」を行うほか、伊勢志摩の生産者・小売業者から安全・安心メッセージもあります。
●募集人数／定員300人(先着順)
●応募締切／申込は前日まで。ただし、託児は10月22日締切。
●申込・問い合わせ先／南勢志摩県民局農水商工部農政・普及室
Tel.0596-27-5170

ハートバランス研究所

- とき／11月10、24日(水) PM7:00～PM8:00
●ところ／名張産業振興センター アスピア ●参加費／無料
●内容／毎月第2水曜日『無料勉強会』・第4水曜日『政治経済講座(無料)』を開催しています。10日のテーマは『障害者という生き方』。「朝、目が覚めたら左手しか動かない…。もしもあなたがそうになったら、どうしますか?突然やってきた障害。そして、阪神大震災。数々の困難を持ち前の明るさで乗り越えた、波乱万丈のノン・フィクションストーリーです。24日は『環境教育学 ～経済学的見地を踏まえて～』を行います。
●問い合わせ先／名張市平尾3068-12 KAJITA BLDG.2F
特定非営利活動法人ハートバランス研究所
Tel.0595-62-1717 Fax.0595-62-1719
E-mail master@heartbalance.jp
ホームページ http://www.heartbalance.jp

NPOマネージメントサポートセンター中部セミナー

- とき／11月13日(土)
- ところ／アスト津3階ミーティングルーム1、2(津市羽所町700)
- 内容／NPO法人の作り方のポイント、申請の手続きの仕方と法務局への手続きとその後の運営の仕方。その後の運営の仕方。会計の進め方とNPO会計ソフトの会計の仕方。対象はNPO法人になりたい方、認証をとられた方、関心のある方です。
- 申込方法／所定の申込書をFaxで、下記へ。
- 申込・問い合わせ先／生活部NPO室(担当:中村)
- Fax.059-222-5971
- 主催／NPOマネージメントサポートセンター中部

川づくり会議みえ第14回勉強会

- 【木津川流域シンポジウム-木津川の再生をめざして】
- とき／11月13日(土)第1部AM9:30～ 第2部PM1:00～ 第3部PM5:00～
- ところ／笠置町産業振興会館(JR関西本線 笠置駅前)
- 参加費／無料(交流会参加等の費用は必要)
- 内容／三重県から淀川を経て大阪湾に注ぐ木津川の流域シンポジウムに参加しませんか。第1部「エクスカージョン」第2部「シンポジウム」第3部「交流会」の構成となっています。
- 申込・問い合わせ先／京都府企画環境部企画総務課(事務局:水嶋式行) Tel.075-414-4388
- E-mail n-mizushima07@mail.pref.kyoto.jp
- 主催／木津川流域ネットワーク・京都府

三重県子ども虐待予防啓発月間協力事業

11月19日(いいいくじのひ)子育てほっとダイヤル

～虐待予防は子育て不安の解消から！～

- とき／11月19日(金)AM9:00～20日(土)AM9:00(24時間のみ)
- 内容／「みくみえ」が子育て何でも相談を始めて5年目、相談の内容は年々複雑化しているように感じます。「子どもとどう付き合えばいいのかかわからない」「イライラして子どもに当たってしまう」「子どもをたたいてしまった」など、あなたの苦しい気持ちを私たちにお話していただきませんか。助産師、心理カウンセラー、小児科医師、看護師、保健師、管理栄養士、保育士が二人交代で電話をお待ちしています。
- 臨時専用ダイヤル Tel.0594-27-5175
- 主催・問い合わせ先／桑名市西別所302番地 特定非営利活動法人 MCサポートセンターみくみえ事務局
- Tel.0594-21-4935 Fax.0594-22-9835
- E-mail mcs-i@mb.i-chubu.ne.jp
- ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~mcs/>
- 協力機関・団体／県内5児童相談所、NPO法人CAPNA

キッズシアター★スペシャル「ムーミン パペット・アニメーション」

- とき／11月23日(祝・火)
- 第1章AM10:00～・PM12:45～ 第2章AM11:30～・PM2:10～ 手あそびAM11:05～・PM1:50～
- ところ／伊勢進富座
- 参加費／映画1本800円 映画2本セット1400円(映画2本セットのみ前売1200円あり)
- 内容／あの「ムーミン」が、北欧で、可愛いパペット(人形)アニメーションになりました。今回は第1章「ムーミンとスナフキン、帽子を見つける」と第2章「ムーミン谷の大パーティ」を上映。語り手は日本製アニメでムーミンの声を担当していた女優の岸田今日子さん。昔のアニメを知っている大人も、子どもも楽しめる作品です。映画のあいだには、楽しい手あそびタイムも行います。
- 主催・問い合わせ先／青春キネマ館&キッズシアター実行委員会
- Tel.0596-23-0839(受付時間PM7:00～PM10:00)

平成16年度三重県青少年健全育成協働・連携促進事業

香山リカさん公開講座

- とき／11月23日(祝・火)PM1:30～PM4:00

- ところ／三重県人権センターホール(津市一身田大古曾字雁田693番地の1) ●参加費／2000円
- 内容／MIEチャイルドラインセンター2004年度受け手養成のための講習会の最終プログラムは、精神科医・帝塚山学院大学教授である香山リカさんを講師に迎え、「子どもが(じぶんを好きになる)ために」をテーマに講演していただきます。NPOからの協働事業提案として、NPOと行政で進めています「24時間フリーダイヤル相談電話設立に向けて」の準備としても、今の子どもたちの状況を多くの方と共有したいと思い、公開講座としました。
- 申込・問い合わせ先／514-0125 津市大里窪田町2709-1 特定非営利活動法人MIEチャイルドラインセンター
- Tel.&Fax.059-232-8172
- E-mail mie-childline@za.ztv.ne.jp

精神保健福祉三重県大会

- とき／11月25日(木)PM1:30～PM4:00
- ところ／三重県男女共同参画センター多目的ホール(津市上津部田1234 三重県総合文化センター内)
- 参加費／無料(講演会は要申込)
- 内容／PM1:30から表彰式。PM2:00から東京国際大学大学院臨床心理学研究科教授、狩野力八郎さんによる講演「混乱する思春期のころ」を行います。「なぜ?少年の凶悪犯罪は増加しているのか?」「なぜ、子どもがキレるのか?」「これらは、特別な子どもだけの問題なのか?」等々。今、子どもたちに何が起きているのか、思春期のころの特性を知り、思春期のころの問題について考えてみたいと思います。また当日は、小規模通所授産施設等による作品展示・即売を同時開催。
- 申込期間／11月8日(月)～19日(金)
- 申込・問い合わせ先／三重県精神保健福祉協議会事務局(三重県健康福祉部障害福祉室内)
- Tel.059-224-2273 Fax.059-228-2085

科学技術振興センター テクノカレッジ「第7回なるほど・なっとくセミナー」

- とき／11月27日(土)PM1:30～PM3:30
- ところ／アスト津3階イベント情報コーナー(津市羽所町700)
- 参加費／入場無料・事前予約不要
- 内容／科学技術振興センターが日頃取り組んでいる研究内容や科学技術について、県民の皆さんにわかりやすく解説します。今回は、「食の安全・安心」について、伊勢茶づくり、貝毒、健康に関わるきのこの効果という3つの話題を取り上げます。
- 問い合わせ先／四日市市桜町3690-1(鈴鹿山麓研究学園都市センター内) 三重県科学技術振興センター総合研究企画部 研究企画グループ Tel.0593-29-3620(当日 Tel.090-7954-2664) Fax.0593-29-8017
- ホームページ <http://www.mpstpc.pref.mie.jp/>

キリン福祉財団助成事業

スペース版プレイセンター・リソースプログラム第5回講座

- とき／平成17年1月30日(日)PM2:00～PM4:00
- ところ／鈴鹿市文化会館けやきホール ●参加費／1000円
- 内容／佐々木正美さんの公開講座『子どもへのまなざし～地域で子育てするために～』を行います。託児は定員50人。有料・要予約。
- 申込方法／Tel、Fax、E-mail、または直接事務所まで。
- 主催・申込・問い合わせ先／510-0961四日市市波木町2040-2 NPO法人体験ひろば☆子どもスペース四日市
- Tel.&Fax.0593-21-0883
- E-mail space@m4.cty-net.ne.jp

ネットワークのよびかけ

【三重環境県民会議】

第2回地域交流会

三重環境県民会議では、日頃の活動を通して、こんなアドバイザーがいたら相談できるなどとお考えの団体の方々と環境アドバイザーの方々の交流を開催します。環境アドバイザーとは、環境カウンセラーや三重県環境学習情報センターの指導者養成講座卒業者など

環境分野に秀でた方々です。事前申込不要。

●とき/PM7:00~PM9:00

- 11月8日(月) 桑名庁舎付属棟1階第2会議室
伊勢庁舎会議棟1階第3会議室
- 11月9日(火) 四日市庁舎本館2階第22会議室
松阪庁舎3階33会議室
- 11月10日(水) 鈴鹿庁舎4階第41会議室
上野庁舎4階中会議室
- 11月11日(木) 津庁舎6階65会議室
尾鷲庁舎行政棟3階301会議室
- 11月12日(金) 熊野庁舎5階第9会議室

『み・かん新聞』の編集ボランティアスタッフ募集

三重環境県民会議の委員との編集会議(夜2時間ほど)に参加し、新聞編集に興味があり継続的に関わっていただく県内に住所がある個人です。編集会議に参加するたびに、日当(550円)と旅費を支給します。

応募書類(申込書)は、ホームページからダウンロードできます。

●問い合わせ先/三重環境県民会議事務局(担当:坂野、高橋)

Tel.059-245-7512 Fax.059-245-7517

E-mail kenmin@mec.or.jp

ホームページ <http://www.mec.or.jp/kenmin>

NPO助成事務局 105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1JTビル

Tel.03-5572-4290 Fax.03-5572-1489

ホームページ

<http://www.jti.co.jp/JTI/contribution/Welcome.html>

WWF ジャパン自然保護助成

●受付締切/11月30日(火)必着

●助成の対象となる団体/日本国内で自然保護活動を行っている団体・個人。(WWF会員が活動に参加していることが望ましい)

●助成の対象となる活動/WWFジャパンが取り組む6つの自然保護テーマに該当する調査研究・普及教育・保護活動など。特にWWFの現在行なわれているプロジェクトに関連し、協働する可能性や相乗効果の見込めるもの。それぞれの活動は具体的な成果が得られる可能性のあるもの。テーマは「森林生態系の保全」「淡水生態系の保全」「沿岸海洋生態系の保全」「生物多様性の保全」「エネルギーと気候変動」「有害科学物質の削減」。

●対象事業の期間/平成17年4月1日~平成18年3月31日

●助成の額/200万円まで。

●応募方法/申請書は下記に問い合わせるか、ホームページからダウンロード。応募はE-mailまたは郵送。

●問い合わせ先/WWFジャパン自然保護室(自然保護事業担当:権田)

105-0014 東京都港区芝3-1-14 日本生命赤羽橋ビル6階

Tel.03-3769-1772 Fax.03-3769-1717

E-mail masayuki@wwf.or.jp

ホームページ <http://www.wwf.or.jp/>

助成金 ニュース

トヨタ財団地域社会プログラム

●受付期間/11月20日(土)消印有効

●対象事業の期間/平成17年4月1日~平成18年3月31日

【(1)活動助成】

●助成の対象となる活動/地域社会の再構築と活性化を目指し、地域にくらす人々が主体となった実践的なプロジェクト。あるいは実践プロジェクトの地域内での相互連携の取り組み。

●助成の額/1件あたり上限200万円。

【(2)成果普及助成】

●助成の対象となる活動/(A)地域社会の再構築と活性化を目指した活動の具体的な成果を、他の地域で類似な実践をしている人たちと比較、共有することを目的とした「活動記録の出版」。

(B)地域社会の再構築と活性化を目指した活動の経験からたくわえられたものを、地域間で共有し広めるための「広域ネットワーク」。

●助成の額/1件あたり上限(A)100万円程度、(B)400万円。

... ..

●応募方法/応募用紙は(1)活動助成、および(2)成果普及助成の(A)と(B)の3種類があります。それぞれ希望を明記し、送料分の切手(1部のみ...普通郵便200円、速達郵便470円、2~3部...普通郵便390円、速達郵便760円)を同封し、11月12日(金)までに下記へ応募用紙を請求するか、ホームページよりダウンロード。応募用紙は簡易書留にて送付。

●問い合わせ先/(財)トヨタ財団地域社会プログラム係

163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル37階 私書箱236号 Tel.03-3344-1701

ホームページ <http://www.toyotafound.or.jp/>

JT 青少年育成に関するNPO助成事業

●受付締切/11月30日(火)消印有効

●助成の対象となる団体/非営利法人で、平成16年9月30日時点で法人として1年以上の活動実績を有する法人。

●助成の対象となる活動/非営利法人が日本国内において、地域社会の核となって実施する青少年育成に繋がる事業。例えば、青少年が地域社会へ参画する事業、青少年が様々な人々と交流または様々な体験をする機会を提供する事業、青少年を育成するための指導者・リーダー等の養成、あるいはこうした事業の基盤整備(体制、プログラム、場所等の整備、広報)など。* 育成の対象となる青少年は、小学生から高校生までを考えています。

●対象事業の期間/2005年4月1日~2006年3月31日

●助成の額/年額上限200万円。30件程度。

●応募方法/「応募書類郵送希望」と明記の上、団体名・代表者名・郵便番号・住所・電話番号を記載し、切手(200円分)を貼付した返信用封筒(角型2号)を同封して、応募締切日の2週間前までに事務局宛に郵送するか、ホームページからダウンロード。

●問い合わせ先/日本たばこ産業株式会社 パブリックリレーション部

新日本友の会

●受付締切/11月30日(火)

●助成の対象となる団体/身体障害者及び知的障害者の福祉に関する事業を直接営む団体。原則として設立後1年以上活動している団体。社会福祉協議会などの支援団体は除く。

●助成の額/30~100万円(1件)

●応募方法/電話にて連絡を取り、必要書類を入手。

●問い合わせ先/新日本友の会(担当:山田敦子)

108-8005 東京都港区港南1-8-15 Wビル

Tel.03-5495-2784 Fax.03-5495-2785

日本水大賞

●受付締切/11月30日(火)

●対象となる団体/(1)学校(2)企業(3)団体(NPOや公益法人など)(4)個人(5)行政

●対象となる活動/水環境系の健全化に寄与すると考えられる活動で、以下の分野における諸活動。(1)水環境(2)水資源(3)水文化(4)水防災。

●応募方法/応募用紙は切手(140円)を貼り、送付先を記入した返信用封筒(A4版の入るもの)を同封して郵送するか、ホームページからダウンロードして入手。応募方法は送付または持参。

●問い合わせ先/(社)日本河川協会 102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E.C.Kビル3階 Tel.03-3238-9771

Fax.03-3288-2426

E-mail taisyo@japanriver.or.jp

ホームページ <http://www.japanriver.or.jp/taisyo/>

*高等学校または同等の学校に在籍している生徒を対象としたストックホルム青少年水大賞もあります。詳細はホームページを参照。

ハウジングアンドコミュニティ財団 住まいとコミュニティづくり活動助成

●受付締切/12月1日(水)必着(11月30日の消印有効)

●助成の対象となる活動/民間非営利組織(法人格等を問わない)が行う、住まいとコミュニティづくりに関する下記7項目の活動。なお、事業記録などの作成・出版、講演会・シンポジウムの開催なども含まれます。

1、探検・点検型の活動。2、施設の提案・創造型の活動。3、住環境の保全・整備型の活動。4、自然の保護・活用型の活動。5、入居者参加の住まいづくりを目指した活動。6、集合住宅の建て替え、増改築、大規模修繕をめざした活動。7、その他の活動。

●助成の期間/平成17年4月~平成18年3月31日

●助成の額/総額1000万円。1件当たり原則として100万円上限。

●応募方法/応募要項・申込書は下記に問い合わせるか、ホームページからダウンロード。応募は郵送または宅配便で。

●問い合わせ先／(財)ハウジングアンドコミュニティ財団
107-0052 東京都港区赤坂1-5-11 新虎ノ門ビル5階
Tel.03-3586-4869
ホームページ <http://www.hc-zaidan.or.jp/>

国際交流基金 市民青少年交流助成

- 受付締切／12月1日(水)
※平成17年6月1日に追加募集があります。
- 申請資格／日本国内の非営利団体であって、市民レベル・地域レベルの文化分野における活動に従事するもの。
- 助成の対象となる活動／市民・青少年が事業の企画実施主体となった以下の(1)又は(2)に該当するもの。なお、平成17年は「日韓友情年」「日・EU市民交流年」「日・中米外交関係樹立70周年」「日サウジアラビア外交関係樹立50周年」、平成18年は「日豪交流年」ですので、これら地域に関する事業の申請を勧奨します。
- (1)文化分野における市民・青少年レベルの国際相互理解の促進を目的として、日本国内又は海外で実施される国際交流事業。
- (2)市民青少年交流の担い手の拡充と、ネットワークの構築による一層の交流発展につながるもの。
- 対象事業の期間／平成17年4月～平成18年3月
- 助成の額／上限200万円。(事業参加者の居住地最寄り空港から事業実施地までの国際航空賃及び滞在費を対象)
- 応募方法／申請書などは、下記に問い合わせるか、ホームページからダウンロード。応募は書留、配達記録郵便、宅配便など、発想が記録できる手段をおすすめします。
- 問い合わせ先／独立行政法人国際交流基金 文化事業部市民青少年交流課 107-6021 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル20階
Tel.&Fax.03-5562-3532、3505
ホームページ <http://www.jpf.go.jp/j/index.html>

数納(かずのう)賞

- 受付締切／12月17日(金)必着
- 賞の対象／児童の健全育成に関し、児童福祉施設(児童館、児童養護施設

など)、地域組織(子ども会、母親クラブなど)、家庭相談員、里親などの活動の具体的実践報告。

- 応募方法／A4版・横書き400字詰、30枚程度を厳守。黒のボールペンまたは黒インクを使用。ワープロ使用の場合は20字×20行横書き。原稿と別に、報告題名、住所・氏名(フリガナをつける)、年齢、職業、連絡先、電話番号を明記した用紙と報告の概要(400字詰3枚に要約)を添付。
- 受賞／数納賞1編(賞状と賞金30万円)、佳作4編(賞状と賞金各5万円)。なお、佳作に準ずると評価された報告は選外ながら特に数納賞奨励賞(賞状と賞金3万円)を設けます。
- 選考基準／活動の先駆性、普及性、社会的効果性、地域(地域住民、各施設、行政など)との連携状況、自己の活動への客観的検証、文章構成における論理性・実践記録としての価値。
- 申込・問い合わせ先／児童健全育成推進財団
150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1 Tel.03-3486-5141

第3回こども読書推進賞

- 推薦締切／12月24日(金)必着
- 推薦者の資格／推薦者には、年齢・職業・性別・信条などの制限はありません。個人・団体を問いません。なお、団体として推薦される場合は、担当者の名前と所属を知らせてください。
- 候補者の資格／こども(小・中学生)の読書推進に積極的な活動を1年以上行い、顕著な成果を挙げている学校、団体、グループ、個人。ただし、その活動に関係のある小・中学校図書館を持つものとします。
- 賞／副賞・日本財団賞(50万円相当の図書。図書は受賞者が選定する)
- 問い合わせ先／社会貢献支援財団 第3回こども読書推進賞係
105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル
Tel.03-3502-0910 Fax.03-3502-7190
E-mail fesco@mve.biglobe.ne.jp

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。
(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター
510-0068 桑名市中央町18東和ビル2階
Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733
E-mail fanclub@mie-kita.gr.jp ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

桑名市

いなべ市から「コミュニティスクール・自主運営のチャレンジ!」

員弁町コミュニティスクールは今年で3年目を迎えました。現在11教室が開講され約150名が元気に参加しています。土日はほぼ毎週どこかの教室のプログラムが生まれ、活動拠点である員弁コミュニティプラザでは、集まってくる子どもたちの声がぎやかに響きます。当スクールの運営は、自主的に自分の時間や能力を子どもたちのために提供しようという講師の方々との熱意と地域に住む多くの人々の力で支えられており、その地道な努力に頭が下がる思いです。



昨年12月に合併によっていなべ市が誕生しましたが、行政サービスが均質化する一方で、地域の特色が薄れていくことも懸念されています。時代の波に押し流されることなく、この活動が真に地域に根ざしたものになるように、今年度はいなべこども活動支援センターが教育委員会から自立して自主運営をスタートし、新たなチャレンジを始めています。

自主運営と口で言うのは簡単ですが、コミュニティスクールに関わる人々は、教育や組織運営のプロばかりではなく、そこには目に見えないさまざまな苦労があります。「地域でイキイキと子どもたちが活動するための指導者の役割は?」「子どもたち自身が運営の主体となって企画、立案に参加していけるようにするには?」「進んで参加したくなるような魅力をどうつくり出すか?」...等々悩みは尽きません。

そこで、今年の7月から10月にかけて「わくわくCSゼミ」と題した研修会をいなべこども活動支援センターの主催で6テーマに

ついて全部で7回企画しました(詳細はHPをご覧ください)。ところが、いざフタを開けてみると参加者が集まりません。

スタッフ会議でいろいろ話し合ううちに、講座の内容を検討する企画段階で、教室を担当している人々と十分な打合せの時間が持てなかったことや、広報がタイムリーでなかったことなどの問題が見えてきました。しかし、それぞれの講座は大変充実していて、ケーブルテレビで取りあげられたり、7回のうちの1回の企画をいなべ市社協と共催できたことなど、今後の活動につながりそうな芽もたくさんありました。

こんな試行錯誤の毎日ですが、これからもゆっくり一歩一歩進んでいきたいと思っています。



伊勢市



いせ市民活動センター

パーティいせ情報

■休館日/毎週水曜日 (その日が祝日に当たるときは、翌日以後の休日でない日)
 ■開館時間 午前9時から午後10時

◆緊急事態！パーティ初の災害ボランティア対応

県内各地で大きな被害を出した台風21号では、伊勢市内でも200戸に及ぶ床上浸水被害がありました。パーティいせは、市民活動支援の一環として、伊勢社会福祉協議会、伊勢市役所とともに被災地域の救援に入り、市内外からのボランティアの受け入れ窓口としての役割を担うことになりました。緊急事態で、誰もが初めてのことばかりで、至らぬところもあったと思いますが、たくさんの方のご支援をいただきなんとか乗り切ることができたと思います。本当にご協力いただいた皆さまに感謝します。

また、伊勢市でのボランティア受け入れ終了後は海山町、宮川村へ支援物資を送る、伊勢発のボランティアバスを出す、ボランティア活動資金を集めるなどの市民による災害支援のサポートをさせていただくことができました。

今回の災害では、今後の地域での防災活動の課題をたくさんいただきました。市民活動センターとしてもみなさんと共に、市民レベルでの防災に取り組んでいきたいと考えています。

ご意見のある方、参加して頂ける方は、ぜひセンターまでお申し出下さい。

(いせ市民活動センター センター長・浦田)



浸水被害にあった地域に受付本部を設置。4日間で823名のボランティアの方が来てくれました。

ボランティア受付本部テント

【台風21号】
水害救援ボランティア、ご協力ありがとうございました！

ホームページもご覧ください <http://skc.e-ise.net>

いせ市民活動センター パーティいせ

伊勢市岩渕1丁目2番29号
 TEL 0596-20-4385
 FAX 0596-20-4386
 Email/skc@e-ise.net



このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会が担当しています
<http://www.po-npo-n.com>

上野市

W.T.Aおちぐりセツ通信

TEL: 0594-0266 伊勢市上野小玉町 3045-1
 TEL: 0594-24-7612, 090-3302-0627
 FAX: 0594-22-0092 代表: 中盛 江
 E-MAIL: MAGI-4743@ezweb.ne.jp

何事もチヨミウロウ
 去月からは...
 車のことで...
 何事もチヨミウロウ

30日の会議の司会
 11月19日(金) 18:30~
 伊勢市協 伊勢支所
 (伊勢福祉協会)
 伊勢市市民活動支援センター(仮称)は...

住所お決まりました!
 伊勢市上野小玉町
 1-1-11

11月29日~12月2日まで
 29日から山梨に493まで
 中野市市民活動支援センター(仮称)は...

11月29日~12月2日まで
 29日から山梨に493まで
 中野市市民活動支援センター(仮称)は...

中野市市民活動支援センター(仮称)は...
 毎週ご参加頂いて下さる方も、まだ「一度も」という方も、お喜びの声を...
 近況報告と、情報交換、因に報告...
 中野市市民活動支援センター(仮称)は...

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。大台町で俳句や映像作品づくりなど文化活動サポートしている上野進からバトンが渡ったのは、自然と歴史をこよなく愛する渡邊幸宏さん。定年後始めた竹炭づくりのお話もうかがいました。

生態系のバランスを取る竹炭づくり

……渡邊さんが市民活動を始めたきっかけは？

最初は明和町みどりの少年隊育成会の会長になったことですね。緑の少年隊は国史跡斎宮跡の広大な国有地に緑を植える活動をしようということで結成されました。その時に、明和町斎宮地区で、PTA会長の経験者の中から、植物や自然に興味のある人が数名ピックアップされたのですが、その内の一人が私でした。この活動では、1999年に青少年育成の分野で県知事表彰をもらいました。このほかに、青少年育成会の活動や環境県民会議の委員としても活動しています。あと、竹好き人間数人が集まって、竹茗会という会も作っています。

……竹茗会はどんな活動をしているのですか？

私が住む明和町の斎宮は、平安時代に竹の都と呼ばれた土地でした。その頃は、奈良、京都、太宰府の次くらいに都会だったそうです。それで、竹にこだわって活動をしようと、作ったのが竹茗会。斎王まつりの時に「竹の都の竹の店」というのを出して、自分で焼いた竹炭など竹製品の展示即売をしています。

……竹炭をご自分で焼かれるのですか？

会社を退職した3年ほど前に、兄と友人の落合さんの3人で玉城町原、国東山の麓に窯を作りました。名前は国東山麓吉兆窯。この辺りは7月頃になると玉虫が飛ぶのです。玉虫の別名は吉兆虫。そこから窯の名にとりました。

……在職中からリタイア後は炭焼きをしようと考えていたのですか？相棒の落合さんは、小学校3年から中学校卒業まで、ずっとおじいさんの後に付いて、炭焼きをやっていて、リタイアしたら炭焼きをしたいという願望があったんです。彼とは会社の同僚でもあり、私の娘が彼の息子さんと結婚したということもあって、タイミングもいいし、一緒にやろうということになったんです。

……炭焼きはどこで覚えたのですか？

玉城町に竹炭産業振興会というのがあり、そこで研修を行っています。私が一期生で、二期、三期と続いています。私は竹炭科の6カ月コースの研修を受けました。

……窯はいくつあるのですか？

手作りの物が2つと、研修コースを終えた時に師匠から譲ってもらった既製品の3つです。

竹茗会・斎宮アカデミー

渡邊幸宏 さんに

聞く

……窯はどうやって作るのですか？

まず、土台を70センチほど掘り、石や竹を入れてから、土をかぶせて床を作ります。これは落合さんとおじいさんが作っていたのを覚えていたのですが、この石があるおかげで、窯の中で冷えた水蒸気が水になっても上手く排出してくれるんです。その上に石と赤土で窯を作っていました。特に天井部は赤土を一日で成形造成しないと土が剥離して、強度が出ないんです。この時には30人もの人に手伝ってもらいました。窯の内部は4畳半くらいで、一番高いところで120センチほどになります。材料を入れる時はソリに乗せて運ぶのですが、中にはいと中腰の作業ですから、かなりきついです。

……炭焼きの手順を教えてください。

まず、山から木や竹など材料を切り出します。枝をはらい、長さを揃えたら、2週間から1カ月乾燥させます。それを窯詰めして、焼きに入りますが、これが1週間から10日ぐらいかかります。これを続けていけば、採算は合うということになっているんですけどね。

……毎日、炭を焼いているのですか？

最初は趣味と実益ということで、結構本気でやっていたんですけどね…。炭焼きって汚い、きつい、危険、3Kの代表と言われるんですよ。汚いというのは焼けた炭を出す時など、鼻の周りが真っ黒になるからわかっていましたが、きついというのはやってみてわかりました。窯を休みなく動かしていたら、体がもぢません。でも、窯にはほとんど毎日、来ていますよ。ここにいると一日がすぐに経つし、パチンコとか無駄遣いしようという気にならないですから(笑)。

……作業中は泊まり込んだりもするのですか？

最初の頃は泊まり込んでいましたが、最近はコツがわかってきました。焼いている時の煙の色の変化で、中の状態がわかるようになりました。もちろん、材料の量や大きさ、乾燥具合、季節によって焼ける時間は変わりますし、窯の空気口を5ミリ狭くするだけでも、全然違うんですよ。

……なぜ、木炭ではなく竹炭なのですか？

玉城町、明和町、多気町を含む、三重県の中南勢地区は特に孟宗竹がはびこっている所なんです。昔は竹を採取して、カゴを作ったりして活用していましたが、今は全然使われなくなってしまいました。今は山や林を大事にしなくてはいけないと言われていますが、孟宗竹はちょっと例外的に嫌われ者になっているんです。元はと言えば、利用しなくなった人間の責任ですから、この竹を材料に炭を作れば、生態系のバランスも取れるのではないかと思ったのです。それに、竹は4～5年で成竹になるので、4年に1回切っても自然破壊にはなりません。一方、木炭は材料の木がちょうどいい太さになるまで15～20年かかりますから、20年サイクルで木が確保できる広い土地が無くては成り立ちません。この辺りは炭の材料に適した木が次から次に切れる場所でも無いですし、木炭を焼く環境では無くなってしまっているんです。その一方で竹は「切って欲しい」という家がいくらでもありますし、中には「使って」と切った竹を持ってきてくれる人もいるくらいです。最近は炭焼きをする人も増えてきましたが、竹炭を焼く仲間がもっと増えて、適度に竹を消費できるいいなと思います。竹は4～5年目がタケノコも一番たくさん出て、元気もいいんです。この時に適当に切れば、ストーンと倒れて、処理費も作業もラクなです。でも、7～8年経つと立ち枯れてしまっ

て、こうなると切っても軽すぎて倒れず、数人でひっぱりだすことになります。作業性も悪いし、枯れているから炭にもならない。燃やすと二酸化炭素が発生して、地球温暖化にも悪影響が出ます。

歴史や自然の魅力に 知らず知らずのうちに 虜になっていたんですわ。

……竹が嫌われる理由は？

孟宗竹が入るとヒノキやスギの植林は竹に負けてしまうんです。竹は表土から50センチくらい下で横に根を張り、どんどん増えていきます。一方、ヒノキやスギは1~1.5mくらい下に根を張るので、雨の水分を竹が全部持って行ってしまふんですね。それでなくても今は山が荒れていますから、竹が入るとひとたまりもないんです。

……この窯は周囲が木に囲まれて、良い雰囲気ですが、訪れる人もいるのですか？

年間500人くらいが訪れています。来てくれた人全員に名前を書いてもらっているんですよ。看板も何も出していませんから、大抵がどこかで知り合った人や、クチコミです。環境や自然保護系の活動をしている方が多いですが、ここで意見や情報を交換したりしています。あと、近くの小学校の子どもたちが総合学習の授業で来て、竹の話や、竹と木の炭の違いなどを勉強していったりもしています。あと、この窯の周辺には樹木だけで50種類ほどありますし、オニヤンマやアリジゴク、山繭、ウスタビガの繭など昆虫や植物が豊富なので、子どもたちの自然観察にもいいんですよ。

……子どもたちも喜んでしょ？

教え甲斐があるというか、目を輝かせて聞いてくれますね。でも、今の子どもが自然のこと、植物、昆虫のことを本当に知らないということも感じます。先日でも小学校3年生の子どもたちが来たので、堆肥のなかにいたカブトムシの幼虫を見せてあげて、欲しいということで「持っていきな」と言ったんです。するとチリチリと棒を持ってきて、幼虫をそれで取ろうとするんですよ。「そんなことしたら、傷が付いて可哀想だから、ちゃんとつかまなきゃ!」と言ったら、「よう、さわらん」って(笑)。結局、私が空き缶に入れてあげたんですけどね。

歴史に親しむ「斎宮アカデミー」

……環境系の活動以外でも、ご活躍だそうですね。

斎宮歴史博物館とタイアップしてできた斎宮アカデミーという会で事務局を担当しています。これは博物館では調査しにくいようなテーマ、例えば伝説の斎王や、宗教に関わるようなことを少しだけアカデミックに取り組んでみようとかということで始まった集まりです。

……斎宮歴史博物館はいつできたのですか？

平成元年です。斎宮というのは地名にもなっていましたし、日本書紀にも飛鳥時代の終わり、天武天皇の頃、大来皇女(おおくのひめみこ)が伊勢(斎宮?)に来たと記されていましたが、昭和45年まで伝説の存在だったんです。その年、不動産会社が今の斎宮歴史博物館のある辺りを住宅地として開発するにあたって、県が試掘をさ



30人がかりで作った窯です。

せたところ、蹄脚硯と言う硯石の一種が発掘されました。円面硯に装飾として馬の脚のようなものを36本ほどつけたものなんですが、これは天皇家でしか使用されていない物だったんです。これが出たことで、試掘を繰り返して、結局この辺りが大きな宮殿跡だったことがわかり、昭和54年に国の史跡に指定されました。

……斎宮アカデミーでは具体的にどんな活動をしていますか？

今は皇學館大学の渡辺寛先生を顧問に迎えて、講義や旅行などを年4回、行っています。講義では斎王が実際にどのような仕事をしていたのかが記された「延喜式」という文献を勉強しています。また、伝説の斎王である倭姫命(やまとひめのみこと)が大和の笠縫村を出発してから、五十鈴川のほとりに天照大神を鎮座させるまで、大和、山城、近江、熱田と廻ったことが『倭姫命世記(やまとひめのみことせいぎ)』という鎌倉時代の書物に書かれているのですが、この足跡を1泊2日で訪ねています。これまでに3回開催して、次回でようやく伊勢平野に辿り着くところです。

……炭焼きとはまた違う、別の顔ですね。

斎宮アカデミーの理事会を吉兆窯で催したりもするんですよ。アカデミーの理事は博物館の歴代館長さんたちなんですけど、シティーボーイな方が多いですから、緑の中で感動されていますよ(笑)。

……渡邊さんが歴史に興味を持ったのは？

吉兆窯のある玉城町原は伊勢神宮と関係の深い土地です。また、宮川沿いの石器、縄文時代の文化が山を越えて入ってきたのか、原の隣の地区になる野中には石器時代の石の加工場跡や竪穴式住居跡もあります。そういった所で子ども時代を過ごしたから、歴史には子どもの頃から興味があったんです。中学生の時に斎宮の親戚に養子に来て、こちらでも地元の歴史に接しているうちにのめり込んでいったんですね(笑)。緑が好きというのも子ども時代に、兄に連れられて国東山を登ったりしていたからでしょう。小さい頃に触れた歴史や自然の魅力に、知らず知らずのうちに虜になっていたんですね。

……いろんな分野でご活躍だと、忙しいでしょう？

退職してからのほうが、忙しいですね。「窯が暖まるヒマが無いんじゃないか?」とひやかされます(笑)。

国東山麓吉兆窯

住所/度会郡玉城町原2753

Fax.0596-52-5177

渡邊幸宏さんはこの人を紹介します。

小川宏樹さん

みえ環境県民運動協議会の事務局として活躍されています。



時にはイベント会場にもなる、吉兆窯。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。